

## セミナー形式の年金数理部会について

- 年金数理部会では、平成 25 年度よりセミナー形式で部会を開催し、公的年金財政をめぐって、数理的な視点を中核としながら幅広く正確な情報を発信することにより、多くの方々、とりわけ公的年金財政に関心のある方々に、公的年金財政に対する理解及び年金数理部会の活動に対する理解を深めていただくこととしている。
- 今年度の開催予定は以下のとおり。
  - 日時 11月12日(水) 14:00~17:00
  - 場所 灘尾ホール(新霞が関ビル内・東京都千代田区霞が関3-3-2)
- 今年度も、外部講師による基調講演の後、年金数理部会委員と意見交換を行うとともに、会場の参加者からも意見を募り、双方向性を確保する。
- 外部講師として、**小野正昭氏(みずほ年金研究所研究理事)**を招聘。
- テーマ:「**公的年金におけるリスク管理**」(以下、考えられる論点(例示))。
  - ① 公的年金におけるリスクとはどのようなものか
    - ・公的年金の制度運営において、どのようなリスクを認識すべきか
    - ・リスクの発生要因(社会経済状況等の変動)に照らした分析
    - ・企業年金等において認識すべきリスクとの違い
  - ② 公的年金における現行のリスク管理メカニズム
    - ・リスク管理の視点に照らした、平成16年改正財政フレームの特徴
    - ・財政検証におけるリスク管理
    - ・毎年度の決算及び年金積立金運用報告書におけるリスク管理
    - ・年金数理部会による毎年の財政状況評価の役割
  - ③ 公的年金のリスク管理を巡る今後の課題
    - ・財政検証におけるリスクの認識・測定・評価のあり方
    - ・毎年度のチェックポイント(決算、年金積立金運用報告書、年金数理部会の財政状況報告)
    - ・公的年金における資産運用リスクの評価と対応